

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	一人ひとりの思いが会話の中で引き出せるようにその人ときちんと向き合いゆっくりと話をする機会を増やしたい。	一人ひとりがどんな生活をしていきたいのを知り、その人の思いを実現できる。	その人が得意だったことや自慢できる話を想起できるように対話する。個別に対応する中でやりたいこと、不安となっていることを知る。外出やレクリエーションを通して意欲を引き出せるようにする。一人ひとりが辿ってきた時代を思い出し再現できるように対話する。	6ヶ月
2	7	利用者一人ひとりに合わせたケアを充実する為ボトムアップを重視し、課題解決に向け多くの気付き、意見を提案していく。	職員一人ひとりが課題解決に向けての意識をもち気づきや意見が増える。	利用者の思いを生活記録にきちんと残し、職員間の情報の共有を図る。問題解決のためのカンファレンスの機会を増やし意見交換する。問題点の把握ができるように連絡ノートや気付きノートで情報交換する。	6ヶ月
3	10	一人ひとりに寄り添い、小さな気付きを大切にしっかりと心理状態を読み取る。心に寄り添うことで、一人ひとりのプランが心のケアに繋がるよう視点を変えていく。	一人ひとりの思いや意向をケアプランに活かすことができる。	入浴、排泄、食事についてはケアチェック表を作成し統一したケアができるようにしていく。心を和らげられるようなコミュニケーションを図り、生活記録にきちんと残しケアプランに活かす。また、ホーム内だけでなく家族や知人にも協力をしてもらう。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。